

H18年度各会計決算認定は 特別委員会を設置し付託

9月定例会では、18年度一般会計外6特別会計（国保・老保・介保・介サ・公共下水道・個別排水）及び水道・病院事業会計決算認定について、特別委員会を設置して付託。閉会中の継続審査とし、それぞれ次のとおり委員を選任しました。

（一般会計等）

委員長	横関	望吉	宍
副委員長	大古	江道	道
委員	古吉	江道	男
	吉岡	繁博	幸
	岡本	住本	美代子
	佐々木	枝木	里枝子

（企業会計）

委員長	橋本	博	之
副委員長	坂原	美	美
委員	杉大	重	界
	松浦	和	浩
	柏業	久	子

議 会 つてどんなところ

今回のテーマは『決算認定』について

9月定例会では、平成18年度決算認定について特別委員会を設置し付託、閉会中の継続審査としました。今回は「決算認定」について紹介いたします。

決算認定とは、議会在前年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、その内容を審査し、確定することです。

町長は、監査委員の審査意見を付けて、議会在前年度決算の認定を受けなければなりません。予算が予定のな見積もりであり、広く執行段階に任されていることから、実績について議会の批判や監視の機会を与えることで適正な財政運営を確保する狙いがあります。

決算審査にあたっては、法令、条例、規則などの関係法規や数計的正誤に限らず、過去の財政運営を通じて問題点を発見し、将来の財政運営に反映させることも期待されています。なお、法令等の違反など重大な問題が発見された場合、不認定となることもありませんが、既に行われた予算執行には影響が及びません。

決算認定は、行政の執行を監視し、建設的な批判を加えることで、適正な行政運営を確保する重要な行為です。

閉会中の活動

広報編集の手がかり学ぶ

北海道町村議会広報研究会

北海道町村議会広報研究会主催による議会広報研修会が8月23日札幌市で開催され、本町議会から広報編集委員2名が参加しました。研修会では、広報プランナーの和田雅之氏から「議会報づくりの手がかりと手順」と題した講演を受け、「議会報は議論の経過と問題点を伝えることが最大の目的であり、高い見識を持つて編集作業にあたってほしい」との激励を受けました。



議会の活性化に向けて

北網ブロック町議会議員研修会

北網ブロック町議会主催による議員研修会が10月22日大空町で開催され、本町議会からも13名が参加しました。研修会では、北海道町村議会議長会事務局長の勢藤三三氏が講師に講演を受け、「厳しい財政事情を背景に議員定数の削減が進む中、議会の活性化に向けては議員の意識改革が何よりも必要」との指摘があり、町議会に課せられた役割と使命の重さを再認識した研修会となりました。



あ と が き

- ▼「びほろ町ぎかい」第186号をお届けします。
- ▼町の主要な財源である地方交付税がこの10年で約15億円削減され、美幌町予算額もピーク時と比べると約7割まで縮減されています。財政運営計画に基づく集中改革期間も3年目となりますが、町民の皆さんの期待に応える成果が上がっているでしょうか。
- ▼行政や議会に向けられる厳しい視線を背中に感じながら「厳しい財政・厳しい状況」だからこそ、町政の実情や議会における議論の経過を町民の皆さんにリアルにお伝えしようと、議会運営委員会を研究を重ねています。
- ▼時は師走。来年のことを語っても、鬼に笑われない季節となりました。
- ▼町政の様子をテレビやインターネットでライブ中継すべきかなど、開かれた議会に向け、真剣に考え行動に移していかななくてはとの思いがあります。議会の広報のあり方について、皆さんの夢や希望をお寄せください。お待ちしております。

議会広報編集委員会

委員長 横関吉広
委員 大江 道男
委員 橋本 博之